

新庁舎整備事業

昭和43年に完成した現本庁舎は、老朽化が進むとともに、業務の拡大に伴い、保健福祉会館、分庁舎へ機能が分散し、市民サービスや業務効率の低下を招いていました。さらに、平成9年度の耐震診断の結果、大規模地震により倒壊する危険性が高いことが判明しました。また、豪雨の際は、内水氾濫により浸水する危険性もあることから、災害時の業務継続が困難で、被災者対応や市民サービスの提供に支障をきたす恐れがありました。

こうした状況から、現本庁舎と保健福祉会館、分庁舎の機能集約に加え、近年各地で頻発している未曾有の豪雨災害や南海トラフ巨大地震発生時にも、万全の体制で市民対応に専念できるような防災の機能強化は喫緊の課題でした。これらの課題を解決するため、様々な検討を重ねた結果、老朽化した現本庁舎を建て替え、新たな庁舎を整備する方針を決定しました。

この方針のもと、令和4年度から建設工事を進めていた新庁舎が令和8年5月に完成し、市政の新たな拠点が誕生しました。



新庁舎の特長

岡山らしい庁舎
濃灰色（のうかいしよく）の外壁や底の白色、底の重なりなど岡山城をモチーフとした岡山らしさあふれる庁舎が新たなまちのシンボルとなり、市民のみなさんの誇りとして末永く親しまれることを期待しています。

災害に強い庁舎
市民の安全と安心を守る防災拠点である新庁舎は、地震に強く、停電や浸水への対策も十分です。災害発生時にも、災害対応などの重要な業務を続けることができます。

環境にやさしい庁舎
先進的な環境技術を採用し、省エネ性能に優れた「ZEB Ready」認証の建物です。また、太陽光発電やごみ焼却施設で発電した電力を活用することで、新庁舎で使用する電力は再生可能エネルギー100%です。

市民が気軽に立ち寄り、くつろげる庁舎
都心を一望できる展望テラス、まちなみを眺めながらひと休みできる屋上テラス。ちょっと立ち寄りたくなる、そんな親しみやすい庁舎を目指しています。

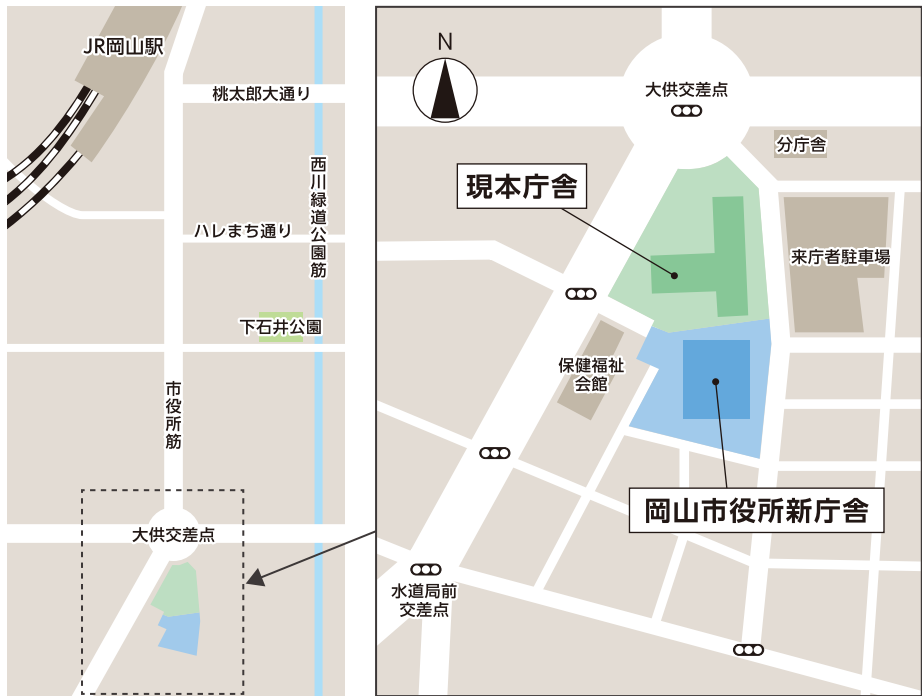
誰もが使いやすい庁舎
キッズスペースや授乳室等を設置した子育て世帯が利用しやすい庁舎です。また、バリアフリートイレや車いす対応のエレベーター等を充実させ、より一層ユニバーサルデザインに配慮しています。

新庁舎整備の経緯

平成 9 年度	現本庁舎の耐震診断を実施し、大規模地震時に倒壊する危険性が高いことが判明
平成 20 年度	耐震改修の各工法について比較検討を実施（改修費用や耐用年数の不透明さが課題）
平成 25 年度	耐震改修と建替えとの比較検討を実施し、ライフサイクルコストを踏まえた経済性・業務継続性・機能性等の観点から建替えが望ましいと判断
平成 26 年度	事業手法の比較検討を実施
平成 30 年度	庁舎整備の基本理念などを定めた基本構想を策定
令和 元 年度	機能別整備方針などを定めた基本計画を策定
令和 2 年度 ～ 3 年度	基本・実施設計を取りまとめ
令和 4 年度	新庁舎建設工事着手
令和 8 年度	新庁舎完成

施設概要

所 在 地	岡山市北区大供一丁目1番1号
敷 地 面 積	約13,960㎡
建 築 面 積	約5,361㎡
延 べ 面 積	約56,008㎡
階 数	地上17階(中2階含む)／地下2階
最 高 高 さ	約87m
構 造	鉄骨造（一部、鉄骨鉄筋コンクリート造および鉄筋コンクリート造） 免震構造＋制振構造



岡山市 総務局 総務部 新庁舎整備課
〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号
TEL.086-803-1151

令和8年7月

